

# 目 次

|                |   |
|----------------|---|
| 卒 業 研 究 .....  | 1 |
| 齒科予防処置論Ⅲ ..... | 2 |
| 齒科診療補助論Ⅲ ..... | 3 |
| 齒科保健指導論Ⅲ ..... | 4 |

# 卒業研究

## 目的

臨地実習で得た経験と情報をもとに、歯科保健の現状を知り問題発見、問題解決能力をみずから学習する。また、3年間の総まとめとし卒業単位試験を実施する。

## 授業計画：

- ・ 研究論文と資料の収集をする
- ・ 研究テーマを決定し仮説を設定する
- ・ 研究計画の立案と研究方法の選択をする
- ・ 研究データの集計と分析を行う
- ・ 研究成果をまとめ論文を作成する
- ・ 研究論文を発表する
- ・ 卒業単位試験

**教科書：**必要なプリントを配布

**評価の方法：**卒業研究論文評価・出席率・授業態度から総合的に評価する  
卒業単位試験

**担当教員：**専任教員

# 歯科予防処置論Ⅲ

## 目的

身につけた知識・技術を駆使し、患者一人ひとりのもつ口腔内の状況を知ることにより、生涯を通じた予防管理の重要性を学ぶことができる。習得した技術を繰り返すことで、より技術の向上を目指す。

## 授業計画

1. 1・2学年総復習
2. 歯・歯周組織の検査
3. シックルスケーラー・キュレットスケーラー
4. 超音波スケーラー・エアスケーラー
5. シャープニング
6. 歯面清掃・歯面研磨
7. メンテナンス
8. まとめ

教科書：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版  
最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 医歯薬出版

評価の方法：単位試験・実習評価・授業態度

授業時間数：30時間

担当教員：専任教員

教員実務経験概要：歯科衛生士

## 実務経験のある教員による授業の概要

歯科医院において歯科衛生士業務に従事した実務経験を活かし、身につけた知識・技術を駆使して患者の口腔内の状況を知ることにより、生涯を通じた予防管理の重要性が理解できるよう指導している。

## 歯科診療補助論Ⅲ

### 目的

さまざまなライフステージにおける高度歯科医療に対応する為に専門性の高い歯科診療補助業務の応用的理論、技能、業務内容を理解する。

### 授業計画：講義および実習

1. 知識確認学習 ①
2. 知識確認学習 ②
3. その他の歯科治療（インプラント）
4. セッティング実習（歯内、保存）
5. セッティング実習（補綴、外科）
6. セッティング実習（障害者、高齢者、小児）
7. 全身疾患と歯科診療補助
8. まとめ

**教科書：**最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 医歯薬出版  
新歯科衛生士教本 歯科材料の知識と取扱い 医歯薬出版

**評価の方法：**単位試験・実習評価・出席率・授業態度（忘れ物、提出物など）

**授業時間数：**30時間

**担当教員：**専任教員

**教員実務経験概要：**歯科衛生士

### 実務経験のある教員による授業の概要

歯科医院および病院において歯科衛生士業務に従事した実務経験を活かし、専門性の高い歯科診療補助業務の応用的理論・技能・業務内容を理解することにより様々なライフステージにおける高度歯科医療に対応できるよう指導している。

# 歯科保健指導論Ⅲ

## 目的

健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持増進するために、プロフェッショナルケア、セルフケア、コミュニティケアの基本となる知識・技術・態度を習得する。

## 授業計画

1. 地域歯科保健活動における健康教育
2. 地域歯科保健事業（市町村保健センター）
3. 集団指導準備原稿・媒体作成①
4. 集団指導準備原稿・媒体作成②
5. 集団指導準備・演習①
6. 集団指導準備・演習②
7. 集団指導準備・演習③
8. まとめ・試験

**教科書：**最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版  
最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 医歯薬出版

**評価の方法：**単位試験・実習評価・出席率・授業態度・レポート

**授業時間数：**30時間

**担当教員：**専任教員

**教員実務経験概要：**歯科衛生士

## 実務経験のある教員による授業の概要

歯科医院および保健センターにおいて歯科衛生士業務に従事した実務経験を活かし、健康と疾病の概念を理解し、歯・口腔の健康を維持増進するためにプロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識・技術・態度が習得できるよう指導している。